



おがわ きんいち  
**小川 金一**  
自由民主党田原市議団



## 本市の農福連携における今後の展望と進め方は

関係機関と連携して進めていく

### 障害者支援施策について

**問** 障害者の就労支援の取り組みは。

**答** 市独自で就労支援専門員を田原福祉センター内にある障害者総合相談センターに配置し、就労を希望する障害者と、障害者が働ける企業等を結びつける支援や、障害者が働ける企業等の開拓に取り組んでいる。

**問** 農業の盛んな本市において農福連携に関して、どのような展望を持って進めていくのか。

**答** 今後の展望として、田原市障害者計画やたはら農業プランに記載のとおり、関係機関と連携して進めていく。具体的には、自立支援協議会等での農福連携に関する情報を共有する中で、農福連携に協力していただける農家や事業所等の発掘を進めつつ、他市町の取り組み状況も参考に研究していきたい。

**問** ひきこもりからの脱却に関する支援は。

**答** ひきこもりの方に対する支援として、その原因が発達障害や精神障害である場合については、障害者総合相談センターでの相談受け付けや相談支援

専門員の家庭訪問などにより、必要な障害福祉サービスや医療につなぐ支援を行っている。

**問** 10月から開設される新たな地域活動支援センターの内容は。

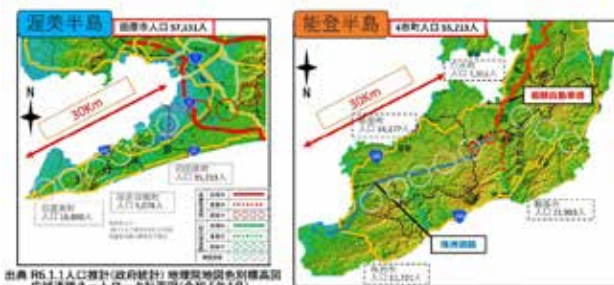
**答** 新たな地域活動支援センターは、比較的三河田原駅に近い場所で開設を予定しており、受け入れ定員は1日20名で、社会との交流の促進につながる買物などの外出支援や調理教室など、創作活動の機会の提供等を行う予定である。



**問** 半島という地形制約の中、限られた道路網しかなく、緊急輸送道路の確保が非常に重要であるが、この緊急輸送道路の強化・充実にどのように取り組んでいくのか。

**答** 現在の道路網の機能強化を図るため、津波、液状化で被災可能性のある半島入り口部における国道259号の4車線化の整備推進及び国道259号高木・江比間バイパスの早期事業化について、愛知県に対し要望している。  
また半島地域における長期孤立を防ぎ、防災・減災を図るため、耐震の信頼性が高い強靱な高規格道路としての渥美半島道路の整備及びこれにつながる強靱な道路ネットワークの構築が必要不可欠であると考えている。そのため愛知県や国土交通省に対し、各種団体も一緒になって要望会を実施し、浜松湖西豊橋道路から渥美半島先端までの、地震にも耐える強靱な高規格道路としての渥美半島道路の早期実現を図ることを要望しており、引き続き関係機関に対し地域一丸となって働きかけていく。

渥美半島と能登半島の道路



出典 国土交通省「国土交通省 国土利用政策課 国土利用政策課 国土利用政策課」